

# 中村橋駅周辺まちづくり検討会

## 第3回美術のまち部会 議事要旨

[日 時]

令和5年8月31日（木） 18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一・第二

[出席者]

部会長 伊東（美術館長）

委員 江村（商店会）、関口（商店会）、野島（町会）

須藤（区民）、前田（区民）、今田（区民）

[事務局]

美術館再整備まちづくり担当課 竹内、松本、中山、納谷

美術館再整備担当課 稲永、越智、根岸、小野

株式会社ユーマック(コンサルタント) 北山、中原

[傍聴者] 0名

[議事次第]

1. 開会

2. 議題

(1) 「美術のまち構想」骨子案について

(2) 「主な取組」に関するディスカッション

3. その他

[配布資料]

・資料1 「美術のまち構想」骨子案

## 1. 開会

- ・部会長の挨拶の後、プログラムに沿って議事を進めた。

部会長	・前任の美術館館長から引き継いで、最初の美術のまち部会である。皆さんには、5月の全体会で一度ご挨拶させていただいたが、改めてご協力をお願いしたい。
事務局	・当美術のまち部会は、昨年から引き続いて第3回目である。 ・当部会の目的としては、目標「アートを感じられるまち」を具現化していくために「美術のまち構想」を策定することである。まずは、事務局側でまとめた「美術のまち構想」骨子案の説明をさせていただく。その後、主な取組についてディスカッション形式で進めたい。

## 2. 議題

### (1) 「美術のまち構想」骨子案について

- ・事務局から資料1の説明。

事務局	・資料1は、「美術のまち構想」骨子案の全体構成（目次）を整理したものである。項目は、1はじめに、2構想の範囲、3目標、4将来像、5主な取組である。（以下1～3の説明は省略） ・4将来像は、次の3つである。 「将来像1 まちのあちこちにアートなスポットがあふれている」 「将来像2 美術館・図書館が地域の方々から愛されている」 「将来像3 アートを軸としたさまざまな活動が行われている」 ・5主な取組は、次の4つである。 【まちをアートな空間に演出】 【アートマルシェ】 【アートコミュニケーター制度の新設】 【アートを軸に地域を盛り上げる活動への支援】 ・「美術のまち構想」とは、地域へアートによるまちづくりの考え方を示すものであり、今年度の策定を予定している。
事務局	・昨年度行ったディスカッションや、地域の方々を対象としたアンケートなどのご意見を事務局側で受け止め、3つの将来像を組立ててみた。また将来像だけでは具体的なことが分からないため、主な取組を整理した。 ・「美術のまち構想」の範囲は、美術館を中心とした一定の区域である。なお、もう一つの部会である「駅周辺まちづくり部会」については、補助133号線などの道路整備を含めた広い範囲、長期的な視点で検討を進めている。 ・ハード、ソフトの取組や、それ以外にも地域の方々から愛される取組なども取り入れていきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「美術のまち構想」骨子案では、商店街と美術館が提携する取組について位置づけたい。具体的にはイベント開催など。</li> <li>・例えば、4月末に開催している「練馬つつじフェスタ」（平成つつじ公園などで開催）は、商店会と協力したイベントである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術のまち構想の範囲は、どのような観点で設定したのか。</li> <li>・私は貫井町会に住んでおり、「美術のまち構想」の範囲に含まれている。町会も頑張る必要があると認識している。</li> <li>・区の考え方に沿って取組みたいと考えている。区から要望があれば、町会に持ち帰り検討したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想の範囲は美術館・図書館を中心に設定した。美術館、図書館の再整備のタイミングに合わせ、駅からのアクセスルートや、中杉通りも含めた商店街との回遊性を想定したエリアである。資料1で示す範囲は、取組を行っていく上での大体の範囲であり、明確に区域を分けているわけではない。</li> <li>・商店会だけでなく、町会の方々も一緒に取組んでいただくとありがたい。</li> </ul>

## （２）「主な取組」に関するディスカッション

- ・（１）に引き続き、「主な取組」に関するディスカッションを行った。

### 現在の地域活動

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、貫井地区区民館（中村橋区民センター）で行う地域活動の運営委員を担っている。現在、貫井地区区民館で行っている地域活動としては、高齢者による「芸能祭」や「こどもえんにち」を開催している。「芸能祭」は、歌、踊りなどの発表会である。通常であれば約50組の参加があるが、コロナ明けもあり今年は半分程度である。「こどもえんにち」の開催は10月を予定している。今までは飲食の提供をしてきたが、今年はゲームのみとした。</li> <li>・貫井地区区民館は来年度から改修工事に入り、しばらくは使えなくなる。その後、新美術館の工事のためサンライフ練馬が除却される。改修工事期間中はイベントを休むことになるが、新美術館完成後には、今まで続けてきた地域の活動を再開し、継続的に進めていきたい。</li> </ul>
----	---

### アートモニュメントなどの設置

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来像1まちのあちこちにアートなスポットがあふれている」については、具体的にどういうことか。</li> <li>・駅と美術館を繋ぐ、鉄道やバスでの来街者が通るルートを、アートのなつくりとしたい。現在、中村橋駅北口の高架沿いには、明治時代の古いレールをリサイクルしたレールランプ（軌条燈）がある。例えば、区で改修可能な部分は道路をカラー舗装とし、車道と歩道を区切るポールや手摺をアートのなものにするなどであろう。</li> <li>・都道である中杉通りは、東京都の管轄なのでアートの整備は難しいが、例えば、麻布十番商店街の路上に設置されている14のアートモニュメントのようなイメージはどうか。</li> <li>・商店街でアートを感じさせるには、店舗にアートのものを飾り、街路灯を</li> </ul>
----	---

	ラッピングすることが考えられる。他の商店街と違う何かをアピールしていきたい。
事務局	・骨子案の主な取組である、まちをアートな空間に演出することについては、“装飾や整備などを行う”という言葉で整理した。

### 安全、円滑な歩行者環境の整備

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者などの移動では、安全性の確保が大事である。</li> <li>・車椅子の通行からうかがえる美術館周辺の歩行者空間の中には、道路へ空調室外機がはみ出たりしているところが一部ある。また、歩車道境界の段差の基準（道路の移動等円滑化整備ガイドライン）では、突起等で視覚障害者の識別を確保しつつ、車いすで登ることが可能な段差を2cmとするとしているが、現状は2cm以上の段差がある部分もある。美術館までの道路が円滑でなければ、誰も行ってみようとは思わない。社会的弱者なども行き来しやすいようにしてほしい。</li> <li>・中村橋駅周辺の今の雰囲気を活かしたい。現在の特徴は、駅の南（千川通り）と北（住宅市街地）では雰囲気がまったく変わることである。</li> <li>・目に見えるだけがアートではない。例えば、視覚障害者の方が、彫刻等に触ってアートを感じられるような取組も大事である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが訪れたい、なんとなく来たくなる街、そういった取組は必要と思われる。</li> <li>・「美術のまち構想」骨子や他の計画などへ、安全性、円滑性を位置づけるような整理をしたい。また、美術館・図書館の設計にも、いただいたご意見を活かしていきたい。</li> </ul>

### 「美術」に対するイメージ

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬区立美術館は有名である。美術好きの方々が美術館へよく来ていると思われ、「美術」は格調高いイメージがある。</li> <li>・新しい美術館は、格調高い人が集まるようにするのか、ポピュラー（一般的）にするのか。ポピュラーにするとしても「美術」を理解するのは難しいと感じる。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の時代、「美術」には色々な分野の広がりがある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、国際展示場で開催するアニメ展などには、多くの人が集まる。人が集まると、まち全体の雰囲気が変わる。</li> <li>・池袋駅東口では、新たにアニメ展示施設ができる予定であり、今後人が集まると思われる。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「美術」には色々なものがある。漫画やアニメによる美術、建築的なもの、写真的なものなど。「美術」は決して難しいものではない。</li> <li>・なお、漫画やアニメは、石神井公園ふるさと文化館で主に取り上げており、区施設ごとに住み分けをしている。</li> <li>・美術館としては、柔軟に対応していきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一昨年の夏頃（2021年7月～9月）、昔から人気のある絵本「11ぴきのねこ」</li> </ul>

	<p>の作家（漫画家 馬場のぼる）の展覧会「まるごと馬場のぼる展」が美術館で開催された。大変個性的な催しであり、小さなお子さんにたくさん来てもらった。</p> <p>・「美術」は、敷居の高いものばかりではない。</p>
--	---

### イベント開催から始めるまちづくり

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局がまとめられた将来像と主な取組はよいと思う。具体的にどうしていくのが今後の課題である。</li> <li>・日常でアートを感じさせるよりは、イベント的なことから始めるのが現実的である。石神井公園では、年に1度「ねこフェス」（地元石神井の作家を中心に、猫をモチーフにしたアート作品の展覧会）を開催している。商店街とタイアップして、アーティストが制作した猫に関連した絵や彫刻を各店舗に飾る。期間中はスタンプラリーをする。公のイベントではなく大規模ではないが、SNSで発信することで人が集まる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、美術館が主催するアートマルシェを開催予定であり、美術の森緑地では商店街など地域の方々が参加する予定である。なお具合的な内容については検討中である。</li> </ul>

### 美術館のワークショップ

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは参加型のイベントが大事である。</li> <li>・今年の夏は、美術館で子ども向けの「まちあるきワークショップ」が行われた。牧野記念庭園の学芸員と中村橋駅の周辺を散策し、採集した野草の絵を描いた。商店街の中も歩いたようであり、美術館と商店街の一体性が感じられる。</li> <li>・美術館で行われるワークショップなどは少人数構成のため、企画の規模を大きくするなど、応募人数を多くして欲しい。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの定員は10～15名程度である。対して応募は40名程度で、外れてしまう方が多い状況である。</li> <li>・充実した密度の濃いプログラムとなると、せいぜい15名程度に定員を限定せざるを得ない。回数を増やすにはスタッフが足りないような状況である。</li> <li>・今後は、美術館の中だけで自足せず、美術館もまちへ出ていく。色々なプログラムを行っていききたい。定員を増やしてできるプログラムも並行して考えていききたい。それが、構想の主な取組にあるアートコミュニケーター制度の活動の1つとも言える。</li> </ul>

### 美術館企画展のポスターなど

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館でイベントを行うときは、駅などにポスターを貼り、リーフレットなどを置くのか。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターは貼っている。リーフレットについては、置く場所があまりない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館で開催中の企画展などのポスターは、商店街にも貼っている。</li> <li>・美術好きの方々は、色々な方面に関心を持って情報を集めている。例えば、</li> </ul>

	<p>週末の朝日新聞夕刊に都内美術館の企画展等の情報が掲載されており、気に留めている方は、それを見て来館されるらしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は「美術」に疎いほうである。意外と、地元の方は美術館へあまり行かないと思う。灯台下暗しである。</li> </ul>
--	---

## 駅舎のアート

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術を感じるには、駅周辺からアートを感じさせたい。現在、そのようなところがない。美術を感じられる看板などがあると、アートを感じられる。鉄道会社の事情もあり難しいと思うが、駅から変えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村橋駅北口の高架沿いのレールランプ（軌条燈）はあるが。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、駅から降りないと美術館のポスターが貼られていると分からない。</li> <li>・電車に乗っている人からは、美術館の建物がよく見える。新しい美術館になると、特徴的な外観と、現在の建物より少し高くなるため、さらに注目を受けやすくなる。</li> <li>・通勤者などが、新しい美術館を見ることで、話題性が広がることに期待できる。テレビなどにも取り上げられると思われる。練馬区民約74万人が一度は美術館へ訪れることを期待したい。</li> <li>・それに対して、駅や商店街などがどう活動していくか。駅に降りたら感じるもの、商店街を歩いて感じるものについて、探していくことが大事。皆さんと話し合っ、良い方法を見つけていきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎の中については、西武鉄道の運営管理である。新しい美術館ができることを踏まえて、改めて西武鉄道と交渉し、駅をアートで彩ることを考えてもらうようにしたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武鉄道は、ハリー・ポッターの施設開館に伴い、ラッピング電車を走らせている。</li> <li>・西武鉄道の駅舎内に、練馬美術館に係わるラッピングなどを考えてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハリー・ポッターの施設ができたことで、西武線豊島園駅はハリー・ポッターに係わる装飾がされ大きく変わった。参考にしたい。</li> </ul>

## 駅前南口広場

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前南口広場をどうしていくかが大事である。現在はインターロッキングなど無機質な感じである。まちづくりのために改修してアートの広場にした。参考として、美術の森緑地は、以前は池と噴水の無機質な感じの空間であったが、10年ほど前に現在の芝生や動物アートなどを整備しアートの空間に整備し直した経緯がある。</li> <li>・現在の生垣よりも、モニュメントなどを置いたほうが良いと思う。</li> <li>・駅前南口広場から美術館へのルートは、エミオ（スーパー）の脇を通り、鉄道高架をくぐり抜けるが、特に高架下は暗いイメージである。ラッピングなどをすることで綺麗にしたい。</li> <li>・駅改札から美術館へ行く鉄道北側のルートも暗い感じであり、綺麗にした</li> </ul>
----	---

	い。
委員	・駅前南口広場に映像を映す画面又はスクリーンなどがあって、美術館の企画展映像を流してはどうか。

### アートのなまちなみ整備

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートのイメージを出すために、視覚から取組むことは効果的。ハード面を変えることでまち全体の雰囲気が変わってくる。以前、アートのモニュメントをまちなかに置くことなどを考えたことはある。</li> <li>・街をカラフルな色にするだけでも雰囲気が変わる。例えば、道路をカラー舗装にするなど。</li> <li>・建物なども、できればカラフルにしたい。現在の建物の色は、黒や茶色などが主流で、店舗では個性的な色が使われている。例えば、お店の色は協調したパステルカラーなどで、もう少しカラフルな色付けにするなど。</li> <li>・さらにまちを飾るプラスとして、例えば、各店舗に絵を置くなど。美術館周辺には練馬第三小学校、貫井中学校、富士見中学高等学校などがあり、発想が柔軟な小学生、中学生、高校生などに絵を描いてもらい、子供たちの作品を展示する。自分の作品が飾られると、まちに人が集まる。</li> </ul>
部会長	・アートの演出にあたって、色や照明は効果的である。
委員	・子どもの作品は親も関心を持つ。良いアイデアである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1店舗1店舗に絵などが置かれると、アートのまちづくりに参加しているという感じを出せる。</li> <li>・商店街の各店舗に絵などを飾ることについては、お店の方々との調整が必要である。例えば、お店の中には狭いスペースで営業している場合もあり、絵などを飾る部分が無いと言われるかもしれない。皆さんと協議しながら決めていくことが大事である。</li> <li>・シャッターなどをアートの的に着色すれば、通勤者などにもアートを感じてもらえる。</li> </ul>
事務局	・駅と美術館・図書館の往復だけではなく、まちなかに回遊性を持たせられるとよい。例えば、モニュメントなどを迎えるまちあるきをするなど。
委員	・色により、人の動線の流れができるようなつくり、ブロックごとの特徴付け、中村橋という統一感などが表現できると良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい美術館自体が新しいアートと言えそうである。美術の森緑地のアートのものを残しながら、さらにアートのものを付け加えていきたい。</li> <li>・美術館と美術の森緑地は素晴らしいものになるので、これを機に、商店街等も波及的に頑張っていきたい。</li> </ul>

### 美術館周辺のまちなみ／構想の取組

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに子どもを連れて美術館回りをした。子ども連れで行く方は、駅中の美術館や駅近でないと大変である。</li> <li>・美術館の周りには、温暖化等に考慮し木や植物を植え、並木などがあつたらいいなと思う。</li> </ul>
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートコミュニケーター制度の新設は大事であり、長期的に続けていけたらいいと思う。具体的には、どのような形で人員を増やしていくか。アートコミュニケーター制度ができると、アートを軸に地域を盛り上げる活動のアイデアが、どんどん出てくると思う。早目に進めて欲しい。それらの活動には、アーティスト・イン・レジデンス（練馬区立美術館再整備基本構想より）なども含まれると思われる。</li> <li>・商店街から美術館の建物を見渡せるビュースポット、反対に美術館からまちを見渡せるビュースポットのような場所があるとうれしい。</li> <li>・駅前南口広場には、子どもがゴロゴロできる芝生などがあると素敵である。駅前をアートの的にするには、広告看板などは取ってしまい、映像などを映すことができないか。</li> </ul>
--	---

### 駅から美術館への動線

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から美術館への動線は、美術の森緑地北側と中杉通りをつなぐ道路、駅前南口広場から高架下をくぐる道路、駅北側のレールランプのある道路などがある。道路空間をアートの的に整備することで、駅を降りた来館者に「ここを通ってみたい」と思わせたい。</li> <li>・駅を降りた来館者は、通常は美術館へ近い駅北側のレールランプのある道路を通る。帰り道も同じルートだと商店街へ誘導できない。</li> <li>・アートの的なものを強調することで、美術館へ来た方が「東の方には何があるのだろう」と感じてもらい、その先にある商店街へ誘導したい。</li> <li>・駅と美術館をつなぐ道は、アートの的に美術館へ行く道、駅へ帰る道として表現してはどうか。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅と美術館を結ぶ3つの主な動線については、それぞれを区別し違いをつけ、分かりやすく整理していくのが大事である。</li> <li>・設計者は、当動線を考慮し、美術館と図書館の出入口位置を設定しているようである。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計者は、当道路を「アート・コミュニケーションコリドー（交流回廊）」と位置付けている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今時は、多くの方がスマートフォンで写真を撮っている。</li> <li>・設計者の考え方として、道路から美術館へのビュースポットを、より良く見せるつくりとし、例えば、「映えスポット」のような、美術館帰りに写真を撮りたくなるような道路空間にしてはどうか、という意見がある。</li> </ul>

### 都営貫井一丁目アパートの「象さん公園」

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都営貫井一丁目アパート（都営住宅）にある広場には小さな象の遊具があり、地元では「象さん公園」と呼んでいる。東京都の用地ではあるが、当公園も美術館の再整備に合わせて、もっとアートの的な公園にできないか。</li> <li>・この辺り一帯は、小学校、区民センター、美術館、図書館とあり、公共施設を活かした文化的なまちなみにしてはどうか。また、都営住宅の東京都は、美術館再整備などに関与しているのか。</li> </ul>
----	--



事務局	・美術館再整備などについて都営住宅の東京都は関係していない。
-----	--------------------------------

### アートマルシェについて

委員	・アートマルシェでは、どのようなアートのものを出品するのか。 ・例えば、グッズ販売とかはするのか。
部会長	・アートマルシェを構成する1つとして、学生たちの参加・協力を得て映像作品を作っており、それを美術館内で上映する予定である。 ・美術の森緑地では、色々な地域の方の出品を予定している。

### アートとお祭り

事務局	・主な取組としてアートマルシェを美術の森緑地で行う予定である（1月に開催予定）。当イベントなどをきっかけとしつつ、地域から自主的な活動が起こることも期待してアートを軸に地域を盛り上げる活動への支援を考えていきたい。 ・サンツ中村橋商店街では「中村橋阿波おどり」（今年は9月30日（土）開催）などのお祭りを行っており、美術館との連携や、アートの要素を取り入れてはどうか。お祭り全体をアートのにするのは難しいと思われるが、何かしら美術館やアートのことを絡めることはできないか。 ・例えば、チラシやホームページなどの作成を、アートを担っている人がアートの的にデザインするなど。
委員	・現在も美術館と商店街は連携していないわけではなく、例えば商店街に美術館企画展のポスターを貼ったり、美術館に商店街のチラシを置いてもらったりしている。 ・秋のハロウィンなどは、皆さんが仮装するのでアートといえなくもない。

### 来街者の誘致

委員	・地元への対応とともに、それ以上に来街者を呼び込みたい。中村橋の立地は、東京メトロ有楽町線や都営大江戸線などにより、遠くからの集客も見込める。例えば、ハリー・ポッターの施設が出来たことで、西武線豊島園駅の乗降客数は増え、駅舎はアートの装飾となり、中には写真を撮るために入場券を買って入場する人もいる。
事務局	・美術館のリニューアルオープンまでにできることを、区として構想にまとめていく予定である。具体的にはどういうことができるか、色々な方とお話ししながら、まとめていきたい。 ・美術館リニューアルオープン後についても、継続していかなければならないと思っている。

### 美術館サポーター

委員	・私は昔から練馬美術館サポーターをしてきた。 ・以前は、サポーターメンバーがたくさんいて、頻りに中村橋へ来ていた。毎
----	---

	<p>週来していたときもあった。近頃は、活動も少なく、だんだんと人数は減っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの活動を盛り上げていきたい。サポーター一人で活動を増やしていくことは難しいため、美術館側で後押しして欲しい。例えば、みんなで活動できることがあれば、区内の美術好きな人が多く集まる。まちも盛り上がる。新しい美術館には、サポーターの活動場所を用意していただけるようであり期待している。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの活動は、コロナ時期に一度滞ってしまった。サポーターに参加していただくことは重要であり、再構築しないといけない。アートコミュニケーター制度との連携、あるいは組織の一体化などについては、今後検討したい。</li> <li>・色々な分野の方が活躍いただけるような仕組みを作っていきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な制度設計の検討は進めていないが、例えば、駅南口広場や美術の森緑地を、いろいろな団体が活動する場として使用して、それを区でも支援していくことはあると思っている。</li> </ul>

### 美術館の音声ガイド

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館での音声解説をして欲しい。耳から入る情報も大事である。例えば、イヤフォンガイドなど。</li> <li>・今時の美術館はスマートフォンとも連動していて、解説などの情報も拾える。</li> <li>・視覚の弱い方にも、音などでアートを楽しめるようにしたい。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イヤフォンガイドについては、取り上げてみたいと思う。一定の数量がそろえば、話に乗ってくれる企業はあると思われる。</li> <li>・さわることのできるアート作品などもある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚の弱い方が美術館を楽しむことは大事であると思う。</li> <li>・以前、美術館で開催した「ショパン展」(2020年4月～6月)で、音声ガイドを行ったことはある。</li> </ul>

### 美術＝絵・彫刻といった固定概念を外したアート

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アート＝絵・彫刻という、固定概念を外したまちづくりは楽しい。他方面で考えてみると、面白い事があると思う。</li> <li>・例えば、絵、彫刻以外の、環境への配慮、木や草花なども含めたまちづくりは面白いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組で区が支援していきたいアートを軸に地域を盛り上げる活動は、必ずしも絵・彫刻を造る人達だけではなくて、芸術という観点から考えると音楽なども含まれるのではと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟に対応することが大事である。現在、それが主流になってきている。</li> <li>・人々を振り向かせる活動について、幅広く対応したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館の変わった企画展としては、「植物と歩く」(2023年7月～8月)は、牧野富太郎の植物図の展示があった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、図書館でも色々な企画を行っている。子どもたちのワークショップなど。幅を広げるのは、面白いと思う。</li> <li>・音楽などがいいのではないか。例えば、バイオリンやチェロの音楽演奏を聴きながらコーヒーを飲むなど。美術館で企画展に関連した音楽を流すなど。</li> <li>・新しい美術館には、音楽のできる防音施設などはできるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい美術館では、あまりにも大きな音を出す企画などは難しい。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館のホールでは、回数は少ないがたまにコンサートを行っている。</li> <li>・新しい美術館にはカフェができる。音楽を聞きながらコーヒーを飲むことはありえる。</li> </ul>

### 今後の検討について

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい美術館ができれば色々な方に関心を持たれ、多くの方が外から来るだろう。そのチャンスを活かして、意見や感想を聞くなどいろいろな情報を得て、さらにソフトウェア的な検討を行い、徐々に活動などを補充していきたい。検討は今回だけではなく、今後の道のりは長いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、具体的な取組などについて、皆さんからご意見、ご要望を聞くことができた。それらご意見等をふまえて、「美術のまち構想」骨子案の書き込みをもう少し加えたい。再度皆さんへお示ししてご意見をいただき追加、修正を行いながら、今年度、構想的なものとしてまとめていきたい。</li> </ul>

### 3. その他

- ・今後の予定などの説明。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は皆さんからご意見等をいただくことができ、有意義な会となった。</li> <li>・いただいたご意見を踏まえながら、事務局側で美術のまち構想の骨子を詰め、できれば年末ごろに、第4回美術のまち部会を開催して、素案としてある程度まとめの形を皆さんへお示ししたい。</li> <li>・なお、その前の11月には、駅周辺まちづくり部会がある。美術のまち部会については日程が決まり次第、ご連絡させていただく。</li> </ul>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、暑い中お集まりいただき、改めて感謝したい。</li> <li>・まちと一体となった美術館というテーマで、建築やまちといった外形的なことや、ボランティアやワークショップの進め方、作品解説など、かなり美術館のソフト的な部分についても色々なご意見をいただいた。</li> <li>・宿題として持ち帰り、今後対応していきたい。ソフト面やハード面で、協力できる美術館として、まちと一体となるように努力していきたい。</li> <li>・引き続き、皆さんには引き続きご協力をお願いしたい。</li> </ul>

以上